

大学院人文社会科学専攻
2026年度(2次募集)入学試験問題「出題意図」

科目名：言語コミュニケーション論

出題意図：

本試験は、言語コミュニケーション論に関する基礎的知識、学術的文章の読解力、ならびに言語を社会的行為として捉え、それを日本語で的確に説明する能力を総合的に評価することを目的とする。

問1では、a～fから異なる3つの用語を選択し、それぞれを日本語で説明する(配点75点)。

出題意図は、言語コミュニケーション論で扱われる基本的概念や専門用語について、概念理解の正確さと、日本語による説明力を測ることである。

問2では、Lightbown & Spada (2021)の *How Languages Are Learned (fifth edition)* からの抜粋(一部改編)を読み、設問に日本語で答える(配点35点)。

設問では、本文において「言語」と「言語学習」の両者が複雑なシステムとして捉えられている点に着目し、両者の共通点と相違点を考慮したうえで、なぜ言語学習を社会・文化的学習の一部とみなすことが重要なのかを論じることを求めている。

出題意図は、言語および言語学習を社会・文化的文脈の中に位置づけて理解しているかを確認するとともに、言語コミュニケーションを複合的なシステムとして考察する力を測ることである。

問3では、Nasution & Tambunan (2022)の“Language and Communication”を参考に、入試問題用に内容および表現を再構成・簡略化した文章①および②を読んで3つの設問に日本語で答えることを求める。設問は以下のとおりである。

設問1：①によれば、言語は情報伝達以外にどのような役割を果たしていると述べられているか。二点以上挙げ、それぞれ簡潔に日本語で説明しなさい。(30点)

設問2：①によれば、円滑なコミュニケーションには言語形式だけでなく、文脈的要因が重要であると述べられている。どのような文脈的要因が言語選択に影響を与えるのか、本文の内容に基づいて日本語で説明しなさい。(30点)

設問3：②では、言語が「社会的現実の反映」および「社会文化的アイデンティティの表現」として機能すると述べられている。この二つの機能について、それぞれ本文の趣旨に沿って日本語で説明しなさい。(30点)

問3の出題意図は、言語が人間のコミュニケーションにおいて果たす役割や機能について、文脈・社会・文化との関係に着目しながら、本文の内容を整理し、論理的に説明する力を測ることである。